



子どもたちへの言葉^{エール}

べんきょう、あそび、しごと。この言葉は、中春別小の教育目標を達成するために意識してほしいこととして子どもたちに伝えている言葉です。子どもたちには「自ら、自分たちで学習や生活をつく」っていこうとする主体性や主張性を。そして、「困ったことは声に出して助け合」えるための協調性を養っていきたくて考えています。

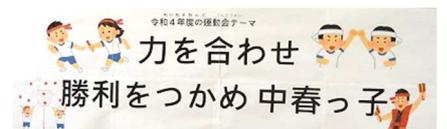


そのためには、力をつけ伸ばすための場が必要になります。たとえば、^{べんきょう}学習の場面。ただ黙って先生の話しを聴き黒板の文字をノートに写すだけでは、知識はつくかもしれませんが、意欲的に自ら学ぶ姿勢は身に付きづらいですし、他の人の意見や考えを聴く場面も大切です。学校では、主体的に学び向かい学びを深めるために、教える場面と気づかせる場面、考えさせる場面を意識した授業づくりを進めています。そのため授業の流れも、教師の話聴く場面や一人で考える場面、グループに分かれて話し合う場面、お互いの意見を聴き自分の考えに活かす場面など、その一時間の授業内容や目標に合わせて、見合った学びの形で進んでいきます。

また、**遊び**や**仕事**に一生懸命取り組むために必要なことの一つ、協調性を育むための場。たとえば学級活動ではクラスのみなが気持ちよく楽しく過ごすためには何が必要か考え、みんなで話し合っって係活動を決めたり、ルールを決めたりしていきます。学校全体に視野を広げると4年生以上が活動する委員会があります。月の目標を意識して生活できたか、アンケートを集計して掲示し振り返ったり、健康への意識を高めるポスターを作ったり、本に親しんでもらうために取り組んだり、みんなに楽しんでもらうための放送を考えたり、安全に運動会に臨めるようグラウンドの石拾いをしてくれたり…。それぞれの活動を通して育まれる協調性、そしてみんなのために一人ひとりが活動しようと思う気持ちを育てることは、**自ら生活をつくる**気持ちを高めることにつながるものと考えています。

さらに大きく視野を広げれば、農協の方々や中学生の皆さんと一緒に実施したクリーン作戦。この活動は、**自分たちの住む街は自分たちできれいにしていこう**という気持ち育むきっかけになるとともに、大人の方々や中学生と一緒に活動させていただくという経験ができる大切な場です。大勢の人の前で作戦の進行をする中学生の姿や、陰で支えてくれる大人たちの姿。そんないつかの**自分の**^{モデリングする}背中を見ることのできる貴重な学習の場です。

学校は、勉強をするところ。学校は遊ぶところ。学校は人との関わりの中で自分のすべきことを知るところ。その経験を育む大きな場のひとつである運動会を来月5日に予定しています。本番に向けて練習していく中で、子どもたちは学級の一員として、低・高学年の一員として、そして全校児童の一人として、協調し、力を合わせて取り組んできました。当日、その成果を大いに発揮してくれることと思います。保護者の皆様には、子どもたちの頑張りに温かな^{エール}声援を送っていただきますようお願い致します。



保護者の皆様に整備いただいた玄関前や前庭円形花壇の花の色とりどり、ビニールハウスでは青葉を茂らせる作物から漂う香り。きたあかりの芽吹きも間もなくでしょうか。まさに生命天地に満ち始める季節。リンと立つ空の青い夏、待ち遠しいこの頃。どうぞお体にご留意いただければと存じます。